



News Release

株式会社フルッタフルッタ

2021年1月7日

カナダのトロント大学における 当社アサイー原料を用いた新型コロナウイルス（COVID-19） 抗炎症性に関する実証実験開始のお知らせ

この度株式会社フルッタフルッタ（所在地：東京都千代田区 社長：長澤誠）は、カナダのトロント大学（以下：トロント大学）が、現在カナダとブラジルで実施している、新型コロナウイルス（COVID-19）（以下：新型コロナ）患者に対する NLRP3 誘発性炎症^{※1}の重症化を改善する効果の臨床研究に、当社アサイー原料を使用するための実証実験を2021年1月25日より開始することをお知らせいたします。

■経緯

トロント大学の、マイケル・ファルコ教授（Dr. Michael Farkouh /医学部研究副院長）と、アナ・アンドレアザ准教授（Dr. Ana Andrezza /薬理学・毒物学および精神科）は、2020年5月から、抗炎症作用を持つ可能性のある安全で天然のアサイーが、新型コロナ患者への治療の選択肢となり得るかを臨床研究しており、当社としても強い関心を持って着目してまいりました。



UNIVERSITY OF
TORONTO



新型コロナにおけるこれまでの研究では、ウイルスが細胞に感染すると、細胞内のたんぱく質の複合体である NLRP3 インフラマソーム^{※2}が活性化して炎症反応を引き起こすことが明らかになっています。アサイーの有効成分が、この NLRP3 インフラマソームレベルを下げ、炎症の悪化を抑制させることが、新型コロナの治療方法として期待されています。

先行して行われている第一次臨床試験によりアサイーの抗炎症効果が認められた場合、より完成度の高い原料の安定供給が求められることから、当社のアサイー原料による実証試験を実施することになりました。

※1：NLRP3 インフラマソームに起因する炎症

※2：タンパク質の複合体であり、細胞内に存在し、ウイルスや細菌、環境中の刺激物（シリカ、アスベストなど）によって活性化する。これにより炎症性サイトカイン（免疫系細胞から分泌されるタンパク質）が細胞外へ放出されて、発熱や感染局所での炎症反応が起こる。

■今後のトロント大学との取り組みの見通し

この度の取り組みにより、当社原料の有用性を実証確認の上、臨床テストにおいても共同研究者として参画していく予定です。

■株式会社フルッタフルッタについて <https://www.frutafruta.com/>

「自然と共に生きる」を理念に、森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存する持続可能な社会の実現を目指して2002年設立。

ブラジルのトメアス総合農業協同組合（CAMTA）よりおもにアグロフォレストリーで栽培されたアサイーをはじめとするアマゾンフルーツ原料を輸入し、メーカーや外食チェーンへ販売を行うほか、「ナチュラル・新鮮・おいしい・本物」をモットーとする自社製品の製造と販売、ジュースバーの運営などを展開。

本件に関するお問合せ先：株式会社フルッタフルッタ
pr@frutafruta.com